

# 川村 準 プロフィール

1987（昭和62）年11月生まれの31歳。旧・浦和市で幼少から育ち浦和東部の大牧小学校、尾間木中学校卒。

都内の順天高校を卒業後、米国はオクラホマ州のノースイースタン州立大学を2011年に卒業後、都内の業界新聞で記者として働く。

社会人生活の傍ら、学生時代から関心のあった政治に関して、さいたま市政を調べ様々な問題を発見する。また、そういった問題に関して、しっかり浦和で追及する議員がいないことに関して疑問を感じ始める。

それならば自分が、そういった議員になるとの決意で2015年の市議選に出馬し当選。

当選後は、議会の定例会ごとに、記者出身のジャーナリスト視点を活かし市政レポートを市民の皆様様に配布。一方で、議員一人での力の限界を感じ、今後はより市民と密接に協力し、議員活動を行うことを模索中。

尊敬する政治家は、93歳で現役の政治家であるマレーシアのマハティール首相。

趣味は読書と音楽鑑賞。好きな作家は司馬遼太郎、山本七平、小室直樹など。好きなミュージシャンはブルーハーツ、エルレガーデン、mol-74など。

## 政務活動費使用せずも発言回数はダントツ

政務活動費は、議員報酬とは別に、政務・議員活動に用いることの出来る議員の「第二の報酬」です。

2014年の野々村竜太郎・元兵庫県議の「号泣会見」はじめ、富山市議会での大量の政務活動費の不正、2017年の沢田力・元埼玉県議の不正受給など政務活動費は「不正の温床」となってきました。

それでは、政務活動費は不正の温床だけど、なくてはならない「必要悪」なのでしょうか。

しかし、さいたま市議会議員の年間報酬は約1354万円です。この年間報酬を皆様からの貴重な税金でいただけるのであれば、政務活動費は不要！ということで、私は年間報酬のみで議員活動を行い、これまで4年間議会ごとにレポートを配布してきました。

また、議会での発言回数も政務活動費を受給0円の私が南区でトップの回数を発言してきました（2017年度、発言は本会議での討論、質問、質疑、動議、議事進行の合計）。

政務活動費を受け取ってないからこそ4年間、政務活動費の改革案を中立公平な市民視点で提案できました。

加えて、この4年間、南区で会派に所属しない無所属議員は私だけでした。会派に所属しないからこそ、本当の意味でしがらみにとらわれず、市民のために闘ってきました。

# 川村準のこれまでの実績

～無所属だから出来る聖域なき改革～

## 沢田埼玉県議の政務活動費の不正を刑事告発！

●2017年7月に発覚した沢田力・埼玉県議の政務活動費の不正受給。沢田氏は不正が発覚するとすぐ議員辞職しましたが、刑事的制裁から逃がすわけにはいきません。沢田氏を刑事告発し書類送検しました。

## 政務活動費の不正疑惑で住民監査請求&住民訴訟

●既存会派の様々な政務活動費の不正疑惑に関し適正な使い方を求め行動してきました。例えば、2017年に「自民・真政」は、タクシー代のみで計143万円を行先も日時も記載しない領収書で政務活動費を受給したことを市民有志とともに発見、住民監査請求と住民訴訟で争っています。

## 死亡事故を二度と起こすな！私立保育園の全園監査を実現

●さいたま市は、残念ながら待機児童が残っているものの保育園の数や受け入れ人数など「保育の量」は増加しています。一方、市が毎年、私立・認可保育園を実地監査していない「保育の質」が問題状態にあることを知った私は、安心安全な環境を目指して議会で全園監査を提案、2018年度から実現しました。

## 公立保育園内のオムツ処分を2020年度に予定

●公立保育園では、保護者が使用済みのオムツを持ち帰るのがルールです。しかし、衛生面や保護者の負担軽減の観点から改善が必要と考え議員として初めて市に提案し、2020年度からの実施へ向け、大きく前進させました。

## 海外視察の質問実現で予算を半分に圧縮

●議員が議会の代表としていく海外視察に関して、議会での質疑・討論の導入を実現しました。結果、厳しい質疑や討論の制度導入前の2011年から2015年の任期4年間は海外視察費が約1400万円だったのが、私が議員となった2015年から2019年の任期は約700万円以下になり厳格化に繋がりました。

## 選挙公報の常時ネット公開を実現、見える化を前進

●選挙公報が、選挙の時だけインターネット上に公開され選挙後はネットから消されていました。議会で選挙管理委員会を徹底追及。結果、2017年から選挙後もネット上に選挙公報が残り市民が常に政治家の公約を確認できる体制が整いました。

※これらはこの4年間の実績の一部です。詳しくは川村準のブログを参照ください。

住民の声を市議会へ

さいたま市議会議員（無所属）

# 川村 準

市政レポート 2019年3月特別増刊号  
発行：さいたま変革の会

# 今のさいたま市政、何が問題か？

## ●大宮偏重の予算編成の一方、浦和はノープラン

### ◆大宮は進化も、浦和は放置

「大宮」は大宮駅大改造計画で経済機能の向上を推進も、「浦和」はビジョンなし。結果、「住みたい街ランキング・関東版」（SUUMO調べ）で2019年に大宮が4位に躍進する一方、浦和は8位という数字になりました。

### ◆大宮への市庁舎移転案は非効率の極み

現在、清水市長が否定しない市庁舎の移転は、現在使用されている浦和の市庁舎に約50億円かけた耐震補強工事費用が無駄になる上に数百億円レベルの税金が新庁舎建設に投じられ市民の税金が無駄になります。

## ●特権の強化を進める会派所属の議員と市長・職員態勢

● 沢田・埼玉県議など政務活動費の不祥事が相次ぐ中、議員・市長・市職員の5年連続で報酬増を検討し、累計として年間で38億円の市民の負担増となりました。

● 2011年に廃止された議員特権の一つである議員年金。2016年に自民、民進系（当時）、公明が議員年金の復活と考えられる「政府管掌年金」の創設を呼びかけてきています。

## ●赤字ハコモノ 金喰い大規模イベントによる市税流失

年間赤字額それぞれ1億5千万円の益裁美術館と人形博物館が市の財政を圧迫しています。浦和美園駅と岩槻駅間の埼玉高速鉄道の延伸も、建設費800億円、周辺開発を含めると約3000億円かかる上に採算性の確保が難しいにも関わらず、清水市長はまだ諦めていません。また、市長の趣味としか言いようのない新都心での自転車大会は1日の開催で約2億7千万円、2016年のトリエンナーレ（国際芸術祭）は職員人件費込みで10億円以上の市税が投入されています。

## ●自民・公明・立憲・共産が子どもの栄養確保を放置

議員特権の維持やデタラメな市政運営の一方、子どもは放置されています。昨年11月に複数の自治体で判明した学校給食の栄養摂取基準が下回って提供されている問題。原因の一つは、食材費の高騰です。そこで、食材費の高騰分は税金から充当し、さいたま市の学校給食の栄養分を満たすよう求める請願を提出しました。しかし、南区の私以外の議員をはじめ、自民、立憲・国民・無所属、公明、共産が請願の迅速な実行を妨げています。

やはり、政党・会派から独立した  
無所属議員の存在が必須！  
というのが結論です。

# だから提案します

## 市役所移転を阻止し 「行政都市・文教都市」浦和を守る

◎大宮への市役所移転を阻止する。巨額な新市役所建設はムダなハコモノの典型で必要ない。

## 誇りの持てる「浦和」のまちづくり

◎浦和エリアに教育予算の重点配分を  
◎自動車の「浦和ナンバー」創設

## 議員特権と市役所の改革で財源を 政務活動費の廃止、官民格差をなくせ

◎政務活動費の廃止（私は南区で唯一、4年間の政務活動費1632万円を受け取らず年4回ある定例会ごとにレポートを各家庭へ配布してきました。政務活動費を廃止しても議員活動に支障がないことを証明）

◎市職員と民間給与の官民較差の削減、赤字ハコモノ・金喰いイベントの中止で財源を創出

## 新駅の設置や通勤の混雑緩和

◎明花駅（南浦和～東浦和駅の間駅）の早期設置で東部の交通利便性を向上  
◎現在進行中の大宮駅の乗り入れ改善だけにせず、南区内の通勤電車の混雑緩和も解決を  
◎駅など公共の場の分煙対策の徹底

## 安全で暮らしやすい生活の実現

◎小中学校の給食栄養摂取基準の遵守を、給食費の値上げ無しで実現を  
◎遺伝子組み換え食品の明記など食の安全を推進  
◎図書館の自習環境の整備、休日の開館時間延長と駅の返却ポストの増設を  
◎公立保育園の土曜時間の開園延長や死亡事故などを2度と起こさないさらなる「保育の質」を向上等々。



# 政治へ大転換

文教都市と市民主流の

川村 準 議員

「刑事的制裁を受けていただかないと  
県政や市政 国全体の政治の  
信頼回復につながらない」



さいたま市  
市議会議員

# 川村 準

さいたま市南区南浦和1-27-11-107  
携帯電話 090-1404-2151  
メールアドレス junkawamura@yaho.co.jp  
カンパ振込先 郵便振替口座 00170-9-386914  
口座名義 さいたま革新の会

あるべき市政の姿について、さいたま市・浦和エリア・南区の将来について  
あなたのご意見をお寄せ下さい。

## ボランティアを募集しています

ポスティング、駅頭のチラシ配布など、お手伝いいただける方、ぜひご連絡ください。

お名前

お電話

ご住所

メールアドレス